



2010年1月27日

各 位

会 社 名 日本電気硝子株式会社
代表者名 社 長 有岡 雅行
コード番号 5214 東証・大証第一部
問 合 せ 先 取締役専務執行役員 阿閉 正美
TEL 077(537)1700

平成22年3月期 連結業績予想に関するお知らせ

当社は、本日、平成22年3月期第3四半期決算短信に掲載のとおり、平成22年3月期(平成21年4月1日～平成22年3月31日)の連結業績予想を公表しましたので、次のとおりお知らせします。

なお、当社を取り巻く事業環境は変化が激しく、今後の需給や価格の動向などによる業績への影響が大きいため、先行きの業績を的確に予想することが困難な状況にあります。このため、当社はこれまで当該期間に係る業績予想を公表しておらず、今回が初めての公表となります。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 —	百万円 —	百万円 —	百万円 —	円 銭 —
今回発表予想(B)	325,000 ～335,000	92,500 ～97,500	85,500 ～90,500	52,500 ～55,500	105.53 ～111.56
増減額 (B-A)	—	—	—	—	—
増減率 (%)	—	—	—	—	—
前期実績	335,662	76,416	64,319	21,831	43.89

<備 考>

第4四半期(平成22年1月1日～3月31日)に関しましては、フラットパネルディスプレイ用ガラスについては概ね堅調な需要が見込まれます。当社といたしましては、需要動向に即した稼働を行うとともに、生産性の改善やコスト低減を推進することにより収益性の向上を図ってまいります。その他の事業分野については、一部の製品で復調を見込むものの、全体として本格的な回復にはなお時間を要するものと考えております。引き続き、それぞれの市場動向に対応しつつ収益性の改善に取り組んでまいります。これらの状況を踏まえ、第4四半期の業績は、第3四半期を幾分上回るものと見込んでおります。

第3四半期累計期間(平成21年4月1日～12月31日)までの業績に上記見込みを合わせ、平成22年3月期業績については、上表のとおり売上高は前期を下回るものの、利益面に関しては、いずれも前期を上回る見込みです。

上記の見込み数値は、現時点での合理的な判断によるものであり、実際の業績はこれらと異なる可能性があります。

(お知らせ)

当社の業績開示方針に基づく次回の四半期業績見込み発表(「平成22年3月期業績見込み及び平成23年3月期第1四半期業績見直し」)は、来る3月23日(火)を予定しています。当社といたしましては、今後も、早期開示の継続に努めてまいります。

以上